



かがやき通信

No. 2

令和8年10月5日

朝夕の涼しさに秋の深まりを感じる季節となりました。学校では、日々の学習や行事などを通して、子どもたちの成長が感じられる時期を迎えていることと思います。

子どもたちは、一人一人、得意なことや苦手なこと、安心して取り組める方法、困ったときの表れ方などが異なります。学校生活の中で見られる「ちょっと気になる姿」の中には、その子なりの理由や困り感が隠れていることがあります。

利根沼田学校等支援センター「かがやき」では、子どもたちがそれぞれのよさや力を発揮し、安心して学び、生活することができるよう、学校・園や関係機関と連携しながら相談・支援を行っています。

子どもの「気になる」から学校・園ができること ～「困った子」ではなく、「困っている子」として考え、環境を整える～

3つのステップ

1 気づく



【担任等】

「どんな場面でどのような行動
が見られるか記録する」

- ・指示を聞いて活動を始められない
- ・読む・書く・計算に困難がある
- ・集団活動が難しい
- ・予定変更に不安が強い
- ・友達とトラブルが多い
- ・落ち着いて学習できない

2 見立てる



【教科担任・学年主任・
特別支援教育コーディネーター等】

「何に困っているのか考える」

- ・本人の得意・苦手
- ・本人の思い
- ・周囲の環境
- ・家庭での様子



個別的教育支援計画
個別の指導計画

3 支える



【今いる場所でできる工夫】

＊環境を整える＊

- ・指示を短く
- ・写真や絵を使って示す
- ・予定の可視化
- ・課題内容や量の調整
- ・ICT 活用

「気になる行動」を障害にしないためには、 環境の調整が必要です。診断ではありません。

その行動、
「できない」から
ではなく、
「困っている」
からかもしれません。



まずは…

「気になる行動」だけを見てしまうと…

話を聞けない



じっとしていられない



読み書きが苦手



音や光に敏感



友達とのトラブルが多い



「障害」
と決めつけて
しまうことも…

環境を調整すると…

同じ行動でも、
「できるようになる」ことがあります。



見通しを持てるように
する（予定を示す）



指示を短く・
分かりやすくする



座席や場所を工夫する
（刺激を減らす）



視覚的な支援を使う
（絵・写真・文字）



ICTを活用する
（学習・コミュニケーション）



休憩や気持ちを切り替える
時間をつくる

環境が整うことで
子どもは安心し、
力を発揮できます。



大切なのは、

「気になる行動」を「障害」として捉えるのではなく、
子どもが安心して過ごせる環境をつくることです。



その子らしさを
大切に、
一緒に考えていきましょう。

巡回相談では、子どもの特性や困り感だけでなく、子どもを取り巻く環境にも目を向けながら、学習環境や学習方法、関わり方などについて、先生方と一緒に考えていきます。

また、個別の教育支援計画の作成や見直しについてもお手伝いさせていただきます。

「ちょっと相談してみたい」「どうしたらよいか一緒に考えてほしい」など、どんなことでもお気軽にご相談ください。

来校相談では、保護者の方や支援に関わる方からのご相談にも対応しています。お子さんのことで気になることや困っていることがある方がいらっしゃいましたら、ぜひ「かがやき」をご紹介します。

お問い合わせ先
群馬県立沼田特別支援学校
専門アドバイザー

まつい りょうこ
松井 亮子

住所 〒378-0053 沼田市東原新町1801-1

電話 0278-30-3030

FAX 0278-30-3031

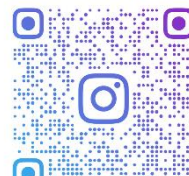
Mail numatoku-shien@edu-g.gsn.ed.jp



【沼田特別支援学校 HP】



【相談メール】



GUNMA_NUMATOKU